

「ユニバーサルデザイン」を学習して

・ ぼくは、ユニバーサルデザインを学習して、自分一人のことばかりではなく、周りの人々の事を考えて行動しなければならないと思いました。

・ 孫さんに「ユニバーサルデザインというのは『物を作るだけ』というイメージがUDを知っている人には思われている」と話してくれた時、私は「ええっ、そうなの!？」知らなかった!!」と小声で思わず言ってしまいました。「便利な物」といっても、自分だけが便利だったらいいのではなくて、人の立場になって「この人にだったら便利だ」「小さい子も使いやすくしないと」などのことを考えて設計・デザインするのがUDなんだそうです。「べんりなもの」というと、ついいます自分のことを考えてしまいますが、お互いのことを考えて行動するのがUDの基本になるということを知ることができました。

・ ユニバーサルデザインを学習して初めて車いすの人や低学年の事を考えることができました。たとえば、学校ではエレベーターは低いところにボタンがあるから、車いすの人や低学年の子でも押すことができるし、奥に鏡があるから車いすの人はバックのまま降りられることができます。このように、学校にもユニバーサルデザインは、いっぱいあることがわかりました。

・ ぼくはユニバーサルデザインの勉強はめんどくさいと思っていたけど、だんだん調べていると、ユニバーサルデザインで大切なんだなと思いました。勉強できて良かったと思います。勉強する前は、自分がよかったらいいと思っていました。だけど勉強して気づきました。「みんなの立場になって考えなければならないこと」を。こういう考え方を持っている人が増えていったらいいと思います。だから、孫さんみたいに、知ってもらおうとする活動が大切だと思いました。ユニバーサルデザインはすばらしいと改めてわかりました。孫さんありがとう。

・ 私は前まで、手すりやスロープなどをなにも考えずに使っていました。でも、知らない人たちが、そんなに考えてくれていたんだなと思いました。でも、私は誰もが使いやすいようにということを考えようとしても浮かびません。そう考えると、ユニバーサルデザインを考えた人はすごいと思います。

・ . . . まずは、班のみんなとユニバーサルデザインをさがしにいきました。たくさんあった所もあったし、直してほしい所や車いすが来たら使いにくい場所もたくさんありました。わたしの班は、3カ所調べました。良かったところは、エレベーターでした。目の不自由な人用に点字もついていたり、車いすの人も安心して使えるところもたくさんありました。たとえば、エレベーターのボタンが高い所に合ったら、車いすの人は、そのボタンを押すことができません。だから、車いすの人専用のボタンがありました。わたしは、どんな人が車いすの人のために考えたんだろうか。すごいなあと思いました。

そして、悪かった所は、図書室と体育館でした。中でも体育館の女子トイレは、和式しなくて、車いすの人が使いにくいことがわかりました。そして、私達の班のキャッチコピーは、「西小学校をもっと便利に！」になりました。とてもいいキャッチコピーだと思います。これからも、ユニバーサルデザインを見つけていきたいと思います。

- ・ 私は孫さんに教えてもらうまで、ユニバーサルデザインを知りませんでした。ユニバーサルデザインで町づくりができると知ってへえーと思いました。学校の中にも以外とUDがあるんだなと思いました。逆に直した方がいいところもたくさんありました。町がユニバーサルデザインでできたら、住みやすくなるなと思いました。

- ・ わたしは、孫さんが学校に来てくれた時、初めてユニバーサルデザインというものを知りました。それで、ユニバーサルデザインをさがしてみるとけっこうたくさん見つけました。でも、車いすの人や小さい子は「不便だろうな」と思う所も数カ所あって、このユニバーサルデザインデザインの勉強ではじめて多くの人々の立場になって考えられたと思います。だからどんな人でも使えるようにと考えながら物を作ることはすごいなと思いました。

- ・ 学校の中にあるユニバーサルデザインを探す時に、初めはあるのかな？と少し考えました。でも、探してみると以外にもいくつか見つけてうれしかったです。それから、わたしは昇降口にスロープがあるのを忘れていたので、見つけた時は「こんな所にスロープあったっけ？」と思いました。身近にユニバーサルデザインがたくさんあるんだなと思いました。

- ・ ぼくは、ユニバーサルデザインを学習して、自分一人のことばかりではなくて、まわりの人々のことを考えて行動しなければならないと思いました。



2007年9月20日(木)
(多目的ホール)



9月21日(金)
(体育館)

伊賀市立上野西小学校6年生